

京都府 中丹医療圏における平成 30 年度病床機能報告 速報値

病床の機能区分	病床機能報告（中 丹） （H30.7.1 現在）				病床機能報告（舞鶴市） （H30.7.1 現在）			将来推計		
	分析前	分析後		増減	分析前	分析後		増減	国推計値 令和 7 年 (2025 年)	地域包括ケア構 想の目標
高度急性期	70	70	3.32%		22	22	2.29%		11.10%	○回復期・慢性期 機能を充実
急性期	1054	1010	47.91%	▲44	492	492	51.14%		38.26%	
回復期	小計	516	560	26.57%	44	223	223	23.18%	33.62%	
	地域急性期（仮） 回復期	(516)	(516)							
慢性期	399	399	18.93%		175	175	18.19%		17.02%	
休棟中等	69	69	3.27%		50	50	5.20%		—	
合計	2108	2108	100.00%		962	962	100.00%		100.00%	

国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院 【京都方式区分：区分C（5病棟以上、重症度のしきい値22%未満）】

平成30年度の病床機能報告

病棟名	平成30年7月1日時点		入院基本料・特定入院料	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	京都方式分析結果		
	医療機能	許可病床数					
I CCU	高度急性期	10	特定集中治療室管理料3	—		高度急性期	10
B棟3階病棟	急性期	47	急性期一般入院料1	36.6		急性期	47
B棟5階病棟	急性期	45	急性期一般入院料1	24.2		急性期	45
C棟3階病棟	急性期	54	急性期一般入院料1	35.9		急性期	54
C棟4階病棟	急性期	54	急性期一般入院料1	23.9		急性期	54
C棟5階病棟	急性期	54	急性期一般入院料1	34.2		急性期	54
B棟6階病棟	回復期	36	地域包括ケア病棟入院料2	2.4		回復期	36

(○：地域急性期（仮）とみなす)

病床の機能区分	分析前	分析後	増減
高度急性期	10	10	
急性期	254	254	
回復期	36	36	
慢性期			
休棟中等			
合計	300	300	

独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター 【京都方式区分：区分C（5病棟以上、重症度のしきい値22%未満）】

平成30年度の病床機能報告

病棟名	平成30年7月1日時点		入院基本料・特定入院料		一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	京都方式分析結果	
	医療機能	許可病床数		病室単位			
NICU病棟	高度急性期	6	新生児特定集中治療室管理料1		—	高度急性期	6
SCU病棟	高度急性期	6	脳卒中ケアユニット入院医療管理料		—	高度急性期	6
B-3病棟	急性期	44	急性期一般入院料1	小児入院医療管理料4（20床）	49.2	急性期	44
B-4病棟	急性期	44	急性期一般入院料1		41.5	急性期	44
B-5病棟	急性期	50	急性期一般入院料1		37.9	急性期	50
B-6病棟	回復期	39	緩和ケア病棟入院料2		—	回復期	39
B-7病棟	回復期	50	地域包括ケア病棟入院料2		—	回復期	50
2号病棟	休棟中	50			—	休棟中	50

（○：地域急性期（仮）とみなす）

病床の機能区分	分析前	分析後	増減
高度急性期	12	12	
急性期	138	138	
回復期	89	89	
慢性期			
休棟中等	50	50	
合計	289	289	

舞鶴赤十字病院 【京都方式区分：区分D（4病棟以下、重症度のしきい値12%未満）】

平成30年度の病床機能報告

病棟名	平成30年7月1日時点		入院基本料・特定入院料		一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	京都方式分析結果	
	医療機能	許可病床数		病室単位			
3階病棟	急性期	50	急性期一般入院料1		37.5	急性期	50
5階病棟	急性期	50	急性期一般入院料1		39.3	急性期	50
4階病棟	回復期	50	地域包括ケア病棟入院料1		—	回復期	50
回復期リハビリ病棟	回復期	48	回復期リハビリテーション病棟入院料1		—	回復期	48

（○：地域急性期（仮）とみなす）

病床の機能区分	分析前	分析後	増減
高度急性期			
急性期	100	100	
回復期	98	98	
慢性期			
休棟中等			
合計	198	198	

京都府立舞鶴こども療育センター 【京都方式区分：区分D（4病棟以下、重症度のしきい値12%未満）】

平成30年度の病床機能報告

病棟名	平成30年7月1日時点		入院基本料・特定入院料	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	京都方式分析結果		
	医療機能	許可病床数					
病棟	慢性期	35	障害者施設等10対1入院基本料	—		慢性期	35

(○：地域急性期(仮)とみなす)

病床の機能区分	分析前	分析後	増減
高度急性期			
急性期			
回復期			
慢性期	35	35	
休棟中等			
合計	35	35	

市立舞鶴市民病院 【京都方式区分：区分D（4病棟以下、重症度のしきい値12%未満）】

平成30年度の病床機能報告

病棟名	平成30年7月1日時点		入院基本料・特定入院料	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	京都方式分析結果		
	医療機能	許可病床数					
2階	慢性期 (医療療養病床)	50	療養病棟入院料1	—		慢性期	50
3階	慢性期 (医療療養病床)	50	療養病棟入院料1	—		慢性期	50

(○：地域急性期（仮）とみなす)

病床の機能区分	分析前	分析後	増減
高度急性期			
急性期			
回復期			
慢性期	100	100	
休棟中等			
合計	100	100	

医療法人 岸本病院 【京都方式区分：区分D（4病棟以下、重症度のしきい値12%未満）】

平成30年度の病床機能報告

病棟名	平成30年7月1日時点		入院基本料・特定入院料	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	京都方式分析結果		
	医療機能	許可病床数					
療養型病棟	慢性期 (医療療養病床)	24	療養病棟入院料2	—		慢性期	24
療養型病棟	慢性期 (介護療養病床)	16		—		慢性期	16

(○：地域急性期(仮)とみなす)

病床の機能区分	分析前	分析後	増減
高度急性期			
急性期			
回復期			
慢性期	40	40	
休棟中等			
合計	40	40	